

# 大村支所 大村はよがとこば~い!



管内の森林面積は約三六〇ha。スギヒノキ等の人工林は約二四〇haで六六%を占めます(国有林除く)。市内を流れる郡川上流の萱瀬地区には約一四〇年のスギの巨木が立ち並んでおり、「森の巨人たち百選」にも選ばれたこの鉢木は、一般公募により「大名杉」と命名されています。また、国の天然記念物として指定されている「イチイガシ天然林」は藩政時代から伐採されずに残っており、原始性が高い約二二haにも及ぶ一大樹林です。

当支所では近年、省力化によるコスト低減と木材収益の向上を図るため、高性能林業機械を用いた列状間伐による作業システムを導入し、林産事業の拡大確立に取り組んでおり、木材価格が低迷する中で、間伐事業の促進と間伐材の利用対策受給体制の強化にもつながっています。この作業システムは林業関係者の関心も高く、県内をはじめ九州管内から毎年、一〇組程度の視察団が訪れます。

現在、平均年齢五二歳、女性一人を含む一一人の精鋭が市内の山林の手入れに奔走しています。林業の発展と活性化に職員・作業員一体となって取り組んでいきますので、組合員皆様また、関係機関のご支援ご協力をよろしくお願いします。



イチイガシ天然林は全国的にも数少ない林分

## 高性能林業機械による作業システム



チェーンソーでの伐倒



列状に伐採された山林



スイングヤーダによる集材作業



トラックへの積込み



フォワーダで間伐材搬出



ハーベスターで枝払い・造材

## 地域イベントへ参加!



当支所では「おおむら秋祭り」等への地域イベントへ積極的に参加し、乾燥シイタケ等の即売は市民に好評です。今年も11月27日、大村市民会館駐車場にて開催予定です。ぜひお越し下さい。



技師 吉村健一



総務係長 橋田武  
(本所総務係長兼務)



支所長 野口三男  
(本所業務課長兼務)

## 支所スタッフ

# 諫早北高支所へきんしゃ～い!!



当支所管内一市五町（諫早市・高来町・小長井町・森山町・飯盛町・多良見町）は、平成一七年三月一日付を以って合併し、新諫早市となりました。

遠く眼下に有明海を望み、北に見上げれば、大きく頂く多良岳が聳え、雄大な展望の中、当支所の事務所があります。

早朝よりかけつける作業班の内二班は主に、旧諫早市を管轄し当支所より車に分乗し、それぞれに分かれ現場へと向かいます。旧北高地区を管轄する二班のうち高来班は、保育作業を主に多良山系の現場へ、そして林産を専門とする小長井の田原班とそれぞれ特色を持ち、平均年齢四五歳の頼もしい二四人の精銳です。

現在、社会一般にさけばれている環境問題について、常日頃仕事とはいえ山の手入れをすることにより少しでも一助になつていると思えば、この上ないことです。

特に旧諫早市において環境保全事業を目的に民有林の伐跡地や荒廃農地に広葉樹を植栽し、またスギ・ヒノキの人工林の複層林化は、平成九年から平成二十四年までの一五年間三〇〇haを目標にクヌギ、ケヤキ、その他の広葉樹林を植栽し拡大していく林業政策は、まさに環境問題に正面から取り組み、人、鳥、水、空気、緑をつくるすばらしい事業です。

管内の諫早・高来・小長井をつつむ多良山系の人工林率は、五七%で七・八令級のスギ・ヒノキの林分が多く間伐が必要となつてきています。

補助事業により間伐を実施し、高性能林業機械を導入し積極的に林産事業に取り組んでいます。

今後、職員・作業員が一丸となり支所発展のため、各事業に取り組んでいきますので、地域組合員のご支援ご協力をよろしくお願いします。

長崎南部森林組合  
諫早北高支所

左から 支所長 田添一男 業務課長 林 弘二郎 主事 鶴田敏幸 嘱託 中尾和子

スタッフ一同頑張ってます

間伐材の有効利用と zwar から高性能林業機械を活用し、林産コストの削減をはかり、森林所有者の方に還元できるよう取り組んでいます。

## プロセッサーによる間伐材の造材状況



# 長崎支所



長崎さるくるく博の  
ついごに山も  
さるいてみれね!

いろいろな新しい  
発見があつて楽しがばい!!

当支所管内は、一市六町（長崎市・野母崎町・三和町・香焼町・伊王島町・高島町・外海町）が合併した新長崎市と長与町・時津町を任せています。

事務所は、旗揚げで有名な唐八景公園、家族連れで賑わう市民の森の入口に建っています。一步、市民の森内に足を踏み入れると、遊技など楽しめる涼坂運動公園、夏には子供達が元気にカブトムシやバッタなどの虫捕りをする昆虫の森、野鳥観察ができる野鳥の森、森内の奥にある鳥帽子岩付近では、眼下に雲仙や天草が一望できます。

このような自然に囲まれた中で仕事をしています。仕事は、主に造林事業（下刈・間伐・枝打など）を実施していますが、主伐期の到来に向け、新規に林産事業も手掛けています。他にも、民家の支障木伐採、公園や空き地の草刈なども実施しています。

まだ多くの森林が充分な手入れをされずに放置されており、公益的機能がおちてきています。このような状態になると、土砂崩れなどの自然災害を招きやすくなりますので、その前に当支所にお気軽にご相談下さい。補助事業やその他制度の案内等を実施しております。

当支所は、職員三人と平均年齢三七・五歳の一四人の若手作業員で運営しています。

私達は現在、環境保全のために少しでも役に立てればという強い意志を持ち仕事に励んでいます。



■後列左から

技師  
奥野義之

支所長  
竹野 弘

■前列

主事  
堀口万知子



宿泊施設のケビンやキャンプ場も充実しています。

長崎市民の森 長崎森林体験館  
問い合わせ先 TEL (095) 825-6705

# 西彼杵支所



き  
ば  
つ  
と  
り  
ま  
す  
!!

当支所管内（西海市・琴海町・長崎市外海地区）は、長崎県の南西部に位置する西彼杵半島の北部地域にあり、北は佐世保市、南は長崎市、東は大村湾、西は五島灘に面しています。また県都長崎市と県北の拠点都市佐世保市までは陸路で約40kmの位置にあります。本地域内には県民の森、自然休養林を初め三つの大きな貯水ダムがあり、林産物はもとより、公益的機能が高く、地域住民並びに周辺都市住民の生活に貢献しています。

地域の総面積は30590ha、世帯と人口は、一六五六〇戸、四七七四九人で、その内、農林業世帯は二五%です。人口の推移は若年層の流出によって過疎化が進み、年齢構成も高齢化傾向にあります。

本地域の森林面積は、一七五一八haで、総面積の五七%を占めており、民有林の人工林面積は、六六二六haで人工林率四三%。長崎県平均をやや上回っています。樹種はヒノキ林で、五齡級（九齡級）が大半を占め、当支所管内も林産事業を積極的に取り組んでいるところです。

本地域森林は、前述のとおり県民の森、国有林の自然休養林を要し、保健休養、レクリエーション機能をもつた森林が多いのが特徴です。また、自然景観美しいことから県立西彼杵半島公園に指定を受け、雪浦ダム、神浦ダム、伊佐ノ浦ダムを抱えていることから、水資源かん養にも大きな役割を果たし、木材生産と併せ公益的機能が高い地域です。

## 職員紹介

長崎南部森林組合  
西彼杵支所



左から

業務課長補佐  
草野博則

支所長  
田添正隆

業務課長  
佐藤公雄  
主事  
後藤ヨシ子



岩背戸渓谷の清流（大瀬戸町雪浦）